

■■■■ いせ市民活動センター通信 第20号 ■■■■

■いせ市民活動センター通信は、伊勢市、またその周辺の市民活動を広くお伝えする広報紙です。



パルティ news 20

発行 いせ市民活動センター

伊勢市若洲1丁目2番29号
TEL0596-20-4385 FAX0596-20-4386
Eメール/skc@e-ise.net
URL/http://skc.e-ise.net
発行 NPO法人 いせコンビニネット

あけまして
おめでとうございます。
今年もパルティをどうぞよく!
皆様のご活躍を
お祈りしています!!

恒例! チャリティコンサート 「ミュージック コミュニケーション」を開催。

2010年12月18日(土)

恒例となった「ミュージックコミュニケーション」、第7回を迎えました。クリスマスモードも高まる12月、今回も素晴らしいコンサートになりました。

伊勢またはその周辺地域で、音楽でまちの活性化を目的に活動しているアーティストの交流と激励を目的に開催している「ミュージックコミュニケーション」。今回は3組のみなさんが出演。20代の若手のバンドから、平均年齢70歳というポピュラー&クラシック系バンド、そしてゴスペル。いろんなジャンルでお楽しみいただけたのではないのでしょうか。

会場では登録団体有志が運営資金の調達のためのバザーも同時開催。開催前には出演者の皆さんがバザーを楽しんでいたりと、お客さん同士で名刺交換をしていたり、久しぶりの再会に喜びあっている等、



なごやかな光景をみることができました。「ミュージックコミュニケーション」の本래の意味のごとく音楽を通しいろんな分野の人たちが交流を深め合っていたら嬉しいです。

募金の5439円は、「チャイルドライン24」に寄付いたしました。

次回は2003年3月19日(土)に開催予定です。

CONTENTS

2p ●センター長 年頭のご挨拶

2・3p 事業報告とごあんない

「リユースPC寄贈プログラム」「市民活動講座」

4p・5p 特集:NPO・市民活動の役割

よのなかは「新しい公」へ。

6p・7p スタッフレポート

登録団体 紹介!
センター日記より

随時受付中

あなたの団体、サークル・グループは
パルティに登録していますか?

パルティでは、施設を利用していただく団体に登録をお願いしています。そのほか、市民活動の支援事業や、広報紙やケーブルテレビ、ホームページなどを利用して広報活動をしておりまますので、みなさんの素晴らしい活動を多くの方に知っていただくためにも、ぜひ、ご登録ください。

あけましておめでとうございます。
今年もいせ市民活動センターを
ご愛顧のほどよろしくお願いします。



センター長の
浦田です

市民公益税制度と新しい公共支援事業

寄付の文化は日本ではあまり進んでいないとよく言われます。どれほど進んでいないのでしょうか。

金額という切り口の見てみると、日本の寄付総額は、1500億円、アメリカは20兆円と言われており、2桁も違うというのが現状です。日本では、お金でなくボランティアで社会貢献をしたりする文化のほうが大きいと思うので、単純に比較をできるのですが、まだまだ寄付文化を広げていく必要があるようです。

寄付文化を広げるというのは、文化を変えようということであり、非常に難しいことなのですが、私たち中間支援組織は、これに取り組もうとしているのです。その方法や形はその団体、地域によりさまざまですが、地域で活動しているNPOや市民活動団体をより活発にすることで、よりよい地域づくり・社会作りをしたいという狙いは全国共通だと思います。また、それだけでなく、NPOや市民活動団体が経済主体となり社会的な責任も果たしながら景気の底上げも担えるくらいに成長できたら素晴らしいことであると私たちは考えています。

さて昨年度、国の補正予算で可決された事業の中に新しい公共支援事業というものがあります。また平成23年度税制改革大綱では、認定NPO法人の規制緩和や個

人寄付者に対する控除の制度改革などが盛り込まれ、現在運用についての詳細が検討されている段階に入っています。つまり、国も後押しをしてくれる動きになってきています。

国も地方公共団体もNPOも理想を目指しながら、寄付文化を醸成していこうと考えているわけですが、ここで忘れてはいけないのは、NPOや市民活動団体が行政の下請けセクター（言いなり）になってしまっていることではないことです。市民としての責任、権利、考え方を大切にして地に足をつけた活動をしながら、市民活動をより充実させていかなければならないのです。責任重大です。

これからのNPOや市民活動団体は、地域課題を解決する当事者としての責任を自ら背負い、様々なことを決定し、運動・活動を推進し、資金も集めていく必要があるのです。

新年を迎え、今までどおりの支援に加え寄付文化の醸成にも努め、この地域のNPOや市民活動団体の皆さんと共に地域づくりをしていきたいと思っています。何卒、今年もいせ市民活動センターをご愛顧のほどよろしくお願いします。

いせ市民活動センター長 浦田宗昭

今年もやります!

再生パソコンを寄贈します!リユースPC寄贈プログラム

「パソコンがあれば活動の輪がひろがるのに…」という市民活動団体にパソコンを寄贈します。

リユースPC寄贈プログラムとは企業からのリユースパソコンを非営利団体・ボランティア団体・高齢者グループなどの市民活動団体やNPOに無償で寄贈しその情報化を支援するプログラムです。今回は主催NPO法人イーパーツと三重県内の市民活動センター等が連携して実施します。いせ市民活動センターもこれまでに33の市民活動団体に51台寄贈しています。企画作成や会議連絡、団体の情報発信等に使用できると喜んでいただいています。

ご応募お待ちしております!

- ★対象:伊勢市またはその周辺の公益活動団体。
- ★募集期間:2月1日~3月3日
- ★寄贈式:3月26日(土)13:30~15:30
- ★応募要綱:所定の申請書
(1月15日よりいせ市民活動センターホームページからダウンロードできます)



前回の寄贈式の様子

お問合せ・お申込み:いせ市民活動センター

※寄贈後はいせ市民活動センターの登録団体になっていただきます。

救急応急手当講座【開催日】2010年11月11日（金）

◎もしも…のときのために！

市民活動を理解していただくためにイベント等は欠くことができませんがそのイベント中にもしものことがあったらと想定し、その時に応急対応ができ安全面に心がけることを目的に開催しました。

伊勢市消防本部のみなさんのご協力の下11団体19人が参加。2グループに分かれ、心肺蘇生法の模擬体験。いくら模擬とはいえ皆さん緊張気味でした。「救急車が到着するまでおよそ7～8分かかります」とのお話にさらにプレッシャーが掛かり力が入り過ぎて注意を受ける場面も。その他に、骨折、捻挫、鼻血の止血法、熱中症等の対処方法を受講。イベント時の安全性について再認識しました。



消防本部の皆さん、快くお引き受けしていただきありがとうございました。説明も丁寧で分かり易かったです。

パワーポイントPC講座

【開催日】2010年8月8日（日）



◎スライドや図を使って発表したい！

助成金や補助金の件でセンターに来られる団体が少しずつ増えてきました。助成金等は申請書提出だけで済むものとプレゼンテーション（発表）を前提とするものがあります。その時に自分たちの団体活動を紹介するのに最適なのがパワーポイントです。パワーポイントはスライドや資料を簡単に作成できしかも視覚的・感覚的に相手に伝えることができます。

そこで登録団体の活動の充実と展開を目的に「パワーポイントPC講座」を開催。「私でも大丈夫？」「レベルアップ？」と不安そうな団体のみなさんでしたが始まると意外にも簡単にできたようで終了後には上々機嫌でした。「お役に立ちます。」と元気よく挨拶して下さった方もいらっしゃいました。再度講習を、とご要望がありましたので検討したいと思います。

今回はコレ！

活動の悩みの壁を打破してくれそうな、元気が出てくる講座を開催します。

テーマ「コミュニティビジネスでまちづくり」

資金がない、人材が足りない、活動に進展がない？ このような悩みに応える耳よりな情報です。地域の問題をビジネス手法で解決していくという「コミュニティビジネス」。これが、結構おもしろい！活動の悩みの壁を打破してくれそうな、元気が出てくる講座です。何か地域のためにしてみたい、地域を元気にしたいという方もお気軽にお越しください。

日時：2011年1月20日（木）19：00～

場所：北館いせシティプラザA会議室

参加費：無料

対象：市民活動をしていて自主財源の確保に悩んでいる市民活動団体の方、まちづくりのために何かしたいと考えている方、コミュニティビジネスに興味のある方。

講師：米山 哲司

◆経歴 企画、広報、番組制作、イベント等の担当を経て地域活性化事業の運営ノウハウ、仕組みづくりの企画立案、クリエイターネットワークをまちづくり、人材育成などに活かすため（平成7年）にチャンネルMを設立。まちづくり事業だけでなく、文化芸術振興、青少年育成、環境保護意識啓発、生涯学習などの企画・運営も行う。「松阪市市民活動センター」のセンター長。

特集：NPO・市民活動の役割

よのなかは「新しい公共」へ。
担うのは…「私たち」?

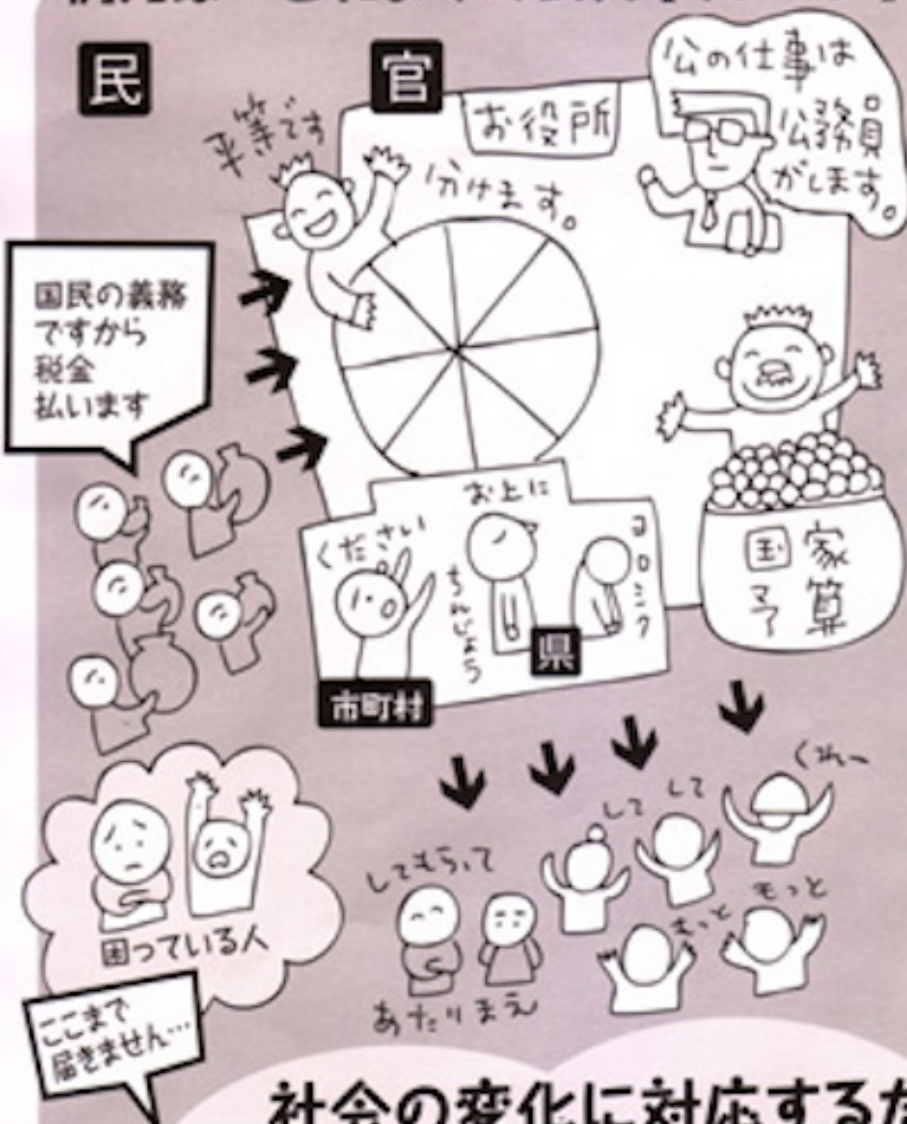
政府の考え方

新しい公共とは

民主党政権に変わり、政府が打ち出している新しい価値観をもった社会の在り方。

人を支えるという役割を「官」（国や地方自治の機関）だけが担うのではなく、教育や子育て、街づくり、防犯や防災、医療や福祉など、それぞれ公共的な役割に地域でかかわっている市民一人ひとりが参加し、社会全体として応援しようという社会づくりです。これからの社会は、官と民が役割を分担することが必須となり、民間企業やNPOなどの民間セクターが重要な役割を担っていくこととなるようですが…。

例えば…これまでの公共【イメージ】



新しい公共【イメージ】



社会の変化に対応するために。

これまでの行政により独占的に担われてきた「公共」。しかし社会の構造や生活スタイルが大きく変化し、官の「公共」だけでは、十分ではないということに多くの人が気付いてきました。その不十分な「公共」を補うために、市民・事業者・行政の協働によって「新しい公共」を実現して行かなくてはならないといえます。

日本の社会の 未来像とは

新しい公共が目指す「未来像」について、政府の見解ではこのように表現されています。

「新しい公共」がめざすのは1人ひとりに居場所と出番があり、人に役立つ幸せを大切にできる社会である。そこでは、国民の多様なニーズにきめ細かく応えるサービスを、市民・企業・NPOなどがムダのない形で提供することで、活発な経済活動が展開され、社会や生活に還元される。国は、官が独占していた領域を「公」に開き、ともに支え合うしくみを構築する。



市民活動／地域活動

政府では、その目指すところに向かって、戦略を発表、「元気な日本復活特別枠」として平成23年度には「新しい公共」の取り組みへの予算措置がとられることとなりました。

NPO等へ 支援するしくみ

借金がかさみ財政難で公共予算がまかないきれなくなった、というのが大きな理由ですが、「新しい公共」へのシフトチェンジで、NPOや市民団体を取り巻く環境も大きく変わっていきようとしています。

たとえば、寄付税制のみなおし。これまで寄付にかかる税金などが規制緩和され、平成22年度「認定NPO法人」制度が改正されようとしています。認定NPO法人になると、寄付をした人がその分税控除されるというメリットがあります。つまり税金を払う代わりに「払いたいNPOの取り組みにお金を出すことができる」という考え方です。しかし、その認定NPO法人になる条件はこれまで、多くの寄付をもらっているNPOでなければクリアできない、ハードルの高いものでした。それが少し緩和され、個人や企業が支援する寄付文化を育てることが政策として考えられています。

市民は何を 求められているのか

お上に依存してきた「公共」だけでは、うまくいけなくなってしまう現代。この社会のなかで企業やNPOにかかる期待は大きく、それぞれが社会的な責任として「公共」を担う当事者として考えなければならない時代といえます。

政治批判だけでは、何も変わらないのは周知の事実です。市民がNPOや市民活動に関わり、参加したり、寄付をする人や企業がもっともっと増えていくこと。そして個人もまた、要求するだけでなく身近なことからひとりひとりが当事者として活動できる社会に。そんな社会が実現できれば、もっといい「よのなか」になるのではないのでしょうか？

いせ市民活動センターは、そんな社会を目指して、市民活動を応援しています。

※この特集ページは、内閣府の資料を参考に自主制作したものです。

スタッフレポート バルティ・スタッフがお伝えします



パスポートの申請はここ？

遠藤

以前パスポート申請等を市民活動センター（バルティ）南館でやっていましたがH13年7月に伊勢庁舎の方に移りました。もう10年を過ぎようとしています。まだセンターにパスポート申請に

来る人がいます。来られる人は皆あたりを見回してから・・・パスポートの申請はここ・・・？と尋ねられるので庁舎の方をご案内するのですが、センターには初めて来られた方だと思うので市民活動センターの役割などPRしてよき理解者になっていただけるようにと市民の輪を広げているこの頃です。



「場の設定、提供」の必要性を痛感しています。

落穂

今年もたくさんのイベント、行事がいせ市民活動センターで開催され、伊勢市のほかに県内外とたくさんの人達がおこしくできました。いまや通りすがりの人に挨拶を交わすことさえも難しい時代になりましたが館内では顔見知りのないたくさんの人たちが笑い、話をしていました。大学駅伝の時はお道に人が途切れることなく列を作り、たくさんの人たちの話声が聞こえていました。

当たり前の光景と思っていたけれど、会話は「場」の共有から発生するものではないかと感じています。誰もが会話を楽しみ合い、想いを伝え合える「場」の必要性を痛感しています。



パワーポイント講習を終えて

青木

センター登録団体の方は、まだパワーポイント（P.P）を使ったプレゼンテーションは、あまり使われていないような気がします。そこで、P.Pの講習をしました。みなさんワードには慣れている方

が多いので、簡単なスライドショーはすぐに作成することができました。動きのある画面や、文字の切り替え方法もすぐに覚えて試していました。

今度は、P.Pを使ってプレゼンテーションしてみようと言う方もいました。ただ、P.Pのソフトを、持っている団体が少ないのでそこが問題かもということに気付きました。

登録団体 紹介！

2010年12月末現在、150団体が登録しています

登録無料！

詳しくはバルティスタッフにおたずね下さい。

いせ市民活動センター南館（バルティ）の会議室や機材の利用には、団体登録が必要です。登録できるのは、公益活動を行う市民活動団体（個人でも可）、市民活動団体とは、ボランティアグループやNPOなど、公共に利益を及ぼす活動をしている団体としています。

●貸し会議室の空き状況もチェックできます

バルティの情報は…ホームページで

<http://skc.e-ise.net>

ここでは、新しく登録された団体をご紹介します。その他の団体については、お問い合わせ下さい。（一部ホームページでも紹介しています）

もらと

動物介在活動を中心とし、認知症や精神障害者等の精神的、肉体的及び生活向上促進に関する事業を公立病院と協働して実施。社会福祉活動に寄与する。

ハビックス

自然を守り、地域の活性化のための社会貢献活動を重ね、将来の子どもの住みよい環境をつくっていき。活動を通して地域の方との触れ合いの場をつくる。

NPO TSUNAGARI

伊勢市及び伊勢市近郊在住の日本語教育を必要とする外国人又は帰国子女に対して、日本語を教えることを基にして人と人との繋がりがついでいくことを目指す。

9月5日

暑い、暑い。体力、労力維持のために窓のブラインドを下ろす、外に水をまく等温度を少しでも下げる工夫を。午後1時から2時の間にすると効果的。センター内はインターネットを利用して国外の家族の方と電話中です。

9月17日

突然秋になりました！今日は友人と「伊勢」について話をしました。そういえばセンターに来られる人の中に、外国にいて日本に帰ってどこに住もうかと考えた結果「伊勢」を選んだ家族がいます。その他にもいろいろな理由（結婚、就職先）で海外の人が伊勢に定住しているという話を聞きます。「人を引き寄せる伊勢」、改めていい所にいるんだなと嬉しくなりました。

9月23日

今日は秋分の日。伊勢でも各地域でイベントが開催されている模様。センターの登録団体「伊勢なでしこ」も二見の真日館にて「舞と津軽三味線」を開催。会場に活動を紹介したパネルを展示するためにパネルを取りにセンターに寄ってくれました。「がんばってきます！」と元気に声をかけてきました。彼女たちの健康を祈る！

9月24日

伊勢まつり二日目。伊勢市駅前、尼辻、月夜見宮橋等でイベントが同時開催。盛りあがっていました。イベントする側、見る側、老若男女、たくさんの人たちで会場が元気、元気でいっぱい！歩いていけるだけでもなんだか元気が出てきました。北館いせシティプラザでも「市民委員会」が、イベント会場のひとつに加えていただき光栄です。

10月7日

5日に北館いせシティプラザにて「WORLD MUSIC LIVE」開催。なんと中国貴州省貴族の民族音楽がありました。平成通都1300年祭に出席する前に伊勢神宮参拝に寄ってくださったそうです。そして、そのついでに交流をもて下さったようでした。素晴らしい歌声や踊り、珍しい衣装に観客のみなさんは大満足のご様子でした。

10月9日

伊勢市に大雨警報が出ました。センター前もご覧の通りすごい雨です。車が濡れぶきをあげながら走っている感じがします。

10月10日

いやーいい天気になりましたね。イベント日和です。昨日の雨がうそのようです。外宮前朝市も開催されています。今日は御園ラブリバーふれあい祭りもあります。センターの前をいくつかの家族

連れが楽しそうに通っていました。

10月14日

ナリ鉱山、33人全員無事救出！奇跡の生還は世界中の人たちに希望と勇気と感動をもたらしました。「よし、がんばろう！」そう思いませんか？！明日は「神宮奉祝祭」。北館でも越中おら風の盆、関東木遣等があります。

10月15日

さすが「神宮奉祝祭」。全国からたくさんの方たちがお祝いに駆けつけてくれました。ひとつひとつの踊りや唄等にその地方独特の文化を感じます。北館シティプラザは素晴らしい踊りを一目見ようと大勢の人たちでいっぱいでした。

10月18日

昨日のセンター前広場「うましくに伊勢シェフクラブ」主催による「食の祭典」がありました。伊勢地域にあるフランス料理店の有志による味自慢の自慢。シェフたちがカッコよかったですよ。センターもピアノ発表会や第九の練習があり、駐車場、この周辺は混雑しました。無事に終わり、はっとしました。

10月23日

今、センターは「ファミリー絵画展」を開催中。早くから問い合わせや、関連して見学に来たり等、おまちどうさま！ですね。子どもから大人までの幅広い年齢層で絵画が展示されています。

10月29日

突然、何の騒ぎかと通りに目をやると、皇学館大学生の「貴族祭」のパレード。若いっていいなーとつくづく思いますね。皇学館大学生のみなさんにはいろんなイベントでお世話になっています。

11月3日

今日は北館で「茶会」がありました。着物姿の若い女性たちがたくさん！それもそのはず各地域で裏千家茶道や学び、お茶を通じ交流・社会貢献活動をしている50歳以下の三重南支部という青年部のみなさん。「茶道」「着物」いいですね。会場が華やかで見ていて優しい気持ちになれます。日本人であることが嬉しい！

11月8日

東市が終わりました。東市の時にはセンター登録団体有志による資金調達のために作った「バリエーション」が参加しています。たくさん笑い、たくさんおしゃべりをして楽しかった。そうそう、マーケットで明治時代に作られたであろう陶器がありびっくり！いい買い物できたと思っていました。バリエーションはセンター内にて常時開店しています。

11月21日

いい天気が続いています。北館いせシティプラザの2階ホールでは子どもたちのピアノ発表会、1階ホールでは第九の会場の練習。一気に文化ホールに空気が変わる。ピアノの音色、そして素晴らしい歌声が流れ、外出せずしてどこかへ出かけているような得た感じ。最近、北館が多目的にご利用いただきうれしく思います。

11月22日

今日は「婚活」が話題に。コミュニケーションが苦手とか面倒くさいとか、仕事一途とかで結婚をしていない男性、女性が多いとか。「結婚したいので紹介して！」と頼まれる事も時々あります。「婚活パーティー」しましょうか？！ああ、こうしようと夢や想像が先走りしています。

11月25日

センターの前は今「どんぐり」がたたくさん落ちています。今日はどんぐりを集めている方がいました。何に使うのか尋ねてみると、なんと「お手玉」の中に入れるそうです。グッドアイデア！。通行人がどんぐりの話題で立ち話をしている声がセンター中まで聞こえています。

11月30日

紅葉がきれいですね。朝の通勤時、渋滞していたので久しぶりに周りの景色に目がいきましました。御木本通りの街路樹、イチョウやモミジ等がすっかり紅葉していました。いつの間にか・・・タイムスリップした感じ。内宮の紅葉も素晴らしい美しいと聞かれています。自然の恵みを満喫し、心癒さうと、自分にも言い聞かせています。

12月5日

クリスマスソングがどこからともなく流れていて年輪問わず心が弾みますよね。北館いせシティプラザはこれから結構イベントが続きます。コンサート関係、ダンス関係、ピアノ発表会等。そうそう、ボクシング・空手の壮行会もありますよ。偶然にも今日は2階の多目的ホールでは親子の楽しい研修会、1階ホールではクリスマス会をしています。こどもがいっぱいの北館になりました。

12月14日

もう年末！外宮前の都道府県バス乗り場アーケードが作られました。センターもせわしくなっています。センターの1階フリースペースは打ち合わせや作業等に利用されていますが、待合場所にもなっているようです。最近では忙しいせいかすれ違いが多く、みんなで探している光景を目にします。駐車場の出入りも多いので、みなさん、お気を付け下さい。

いろんな
ボランティア
募集中！

ボランティア登録を受け付けます！

★いせ市民活動センターのボランティア登録 “やるボラ登録・してんかな登録”

ボランティア
してみようかな
と思ったら...



“やるボラ登録”

→ボランティアしたい方(個人)が登録を行います。

※登録者(個人)にはボランティア情報をメールで配信。
登録者はそれを受け取って、ボランティアへの参加・不参加を決めて、登録者から連絡していただくシステムです。

“してんかな登録”

→登録団体がボランティアを募集したいときに登録します。



■登録方法

ボランティア登録を希望する個人、またボランティア募集をしたい団体の方、それぞれ専用の申込用紙がありますので、事務局(いせ市民活動センター)に提出してください。

■登録資格

主に伊勢市でボランティア活動を行なおうとする場合に登録できます。但し、公序良俗に反する行為等が見受けられる場合は、いせ市民活動センターの権限で登録の取消が行なわれる場合もあります。

★詳しくはセンターまで！

●問い合わせ TEL0596-20-4385

●申し込み FAX0596-20-4386

パルティ information!

★1月～3月の事業予定です。参加者募集中です。

- コミュニティビジネス講座
1月20日(木) 19:00～21:00 ※P3参照
- NPO会計相談
2月6日(日) 10:00～12:00
3月13日(日) 10:00～12:00
- チラシ作成PC講座
2月18日(金) 10:00～12:00
3月4日(金) 10:00～12:00
- リユースPC寄贈プログラム
募集:2月1日～3月3日 ※P2参照
寄贈式:3月26日(土) 13:30～15:30
- 第8回ミュージックコミュニケーション
3月19日(土) 19:00～21:00 ※P1参照

パルティでは、市民活動に活用していただくことを目的に、次のような各種印刷機材や備品を用意しています。登録団体しか使えない機材がありますので、くわしくは担当スタッフにお尋ねください。

●屋外イベント・テント貸し出します

パルティくんのイラストも入った黄色いテントで、イベント会場でもひととき目立つと大好評です!

★テントサイズ

広さ 18.8㎡ (3.5m×5.3m) 軒高2.0m 棟高 3.0m
利用料金 一張り2,000円/1日 ※登録団体のみ可/要予約

●フルカラーコピー機

対象:どなたでもご利用できます

用紙サイズ	料金(円)	
	白黒	カラー
B5	10円	50円
A4	10円	50円
B4	10円	50円
A3	10円	80円

●2色刷り印刷機

対象:いせ市民活動登録団体

料金(円)	
製版代	1枚(1版)につき40円 (2色印刷なら40円×2枚で80円)
インク代	用紙50枚につき20円

★ごく簡単に赤と黒(青と黒)の2色印刷ができます。

●大判印刷機 対象:いせ市民活動登録団体

★大判印刷サイズ

- 横断幕 59.4cm×1700cmまで
- ポスター A1/84.1cm×59.4cm A2/60cm×42cm

印刷の枚数	普通(黒)	ポスター	写真(800)	
A 1	500円	600円	900円	厚口コート紙使用
A 2	350円	450円	700円	厚口コート紙使用
横断幕・縦断幕 (幅94.1×1,000mm)	600円	700円	800円	厚口コート紙使用
A 1	300円	400円	500円	用紙持ち込み価格
A 2	240円	270円	300円	用紙持ち込み価格
A 3	110円	150円	180円	用紙持ち込み価格
横断幕・縦断幕 (幅94.1×1,000mm)	330円	380円	430円	用紙持ち込み価格

※ウインドウズのデータ(ワードなど)を持ち込んでのプリントが可能です。
※A3サイズの場合は、用紙持ち込みに限ります。

「若者就業サポートステーション」 シティプラザ1Fにて随時開設しています。

このサポートステーションは職業幹せんではなく、働きたいけど働けない若者や、大人になっても働いていない子供を持った親の相談を受けて、自立に向けてサポートする事業です。厚生労働省の委託事業として全国で100ヶ所(平成22年度現在)に設置されているうちのひとつで、三重県では津市、伊賀市と、伊勢市にサポートステーションがあります。

いせ若者就業サポートステーション

- 開設日 日曜・水曜をのぞく週5日
- 時間 朝9時～夜7時まで
- 利用対象者 学校卒業もしくは中途退学又は離職後、一定期間無業の状態にある40歳くらいまでの若者と、その保護者。
- 受け入れ キャリアカウンセリング(要予約) 家族向け相談会

いせ市民活動センター

パルティ

伊勢市岩瀬1丁目2番29号
TEL 0596-20-4385 FAX 0596-20-4386
[Email] skc@e-ise.net

<http://skc.e-ise.net>

●貸し会議室の空き状況もチェックできます



■休館日
毎週水曜日
(その日の前日に当たる場合は、翌日以降の休日でない日)
12月29日～1月3日
■開館時間
午前9時～午後10時

賛助
企業

市民活動支援事業に 賛助をいただいています!

- 南部自動車学校
- 株式会社 ぎゅーとら
- 有限会社 東海ネクス
- (株)アイティービー
- 株式会社 鈴工
- (株)セフティージャパン
- 有限会社 南勢建築設計
- 南勢糧穀(株)
- セッツ設備
- イセット(株)
- 有限会社 大玉溶材
- 八木段ボール(株)
- 中南勢清掃 有限会社
- (株)スコールチャ三重
- 株式会社 坂谷自動車工業
- 伊勢志摩労務管理センター
- (株)コムデック
- (株)山信工業
- (医)あんず会 まつもとクリニック
- 建築士事務所協会伊勢支部

市民活動を支援するための寄付を受け付けています

いせ市民活動センターは、NPO法人いせコンビニネットが指定管理者として、管理運営しています。市民公益活動を支援するために、センターの売り上げ、行政からの助成金、企業や個人からの寄付金を利用させていただいています。